

霧島

霧島新聞
MARCH.2007 VOL.29

3

Special Edition
特集◎世界とつながる空の玄関
鹿児島空港開港35周年



2月10日 午前11時41分 牧園町上中津川(霧島ゴルフ場下)

Kirishima City Public Relations, Japan
2007.3 VOL.29

霧島新聞

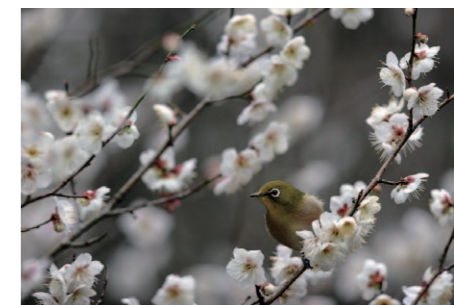


発行／〒899-4394 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45-1 電／0995-45-5111(代)
ホームページ／URL <http://www.city.kirishima.jp> ■メールボックス／E-mail:info@city-kirishima.jp
編集／広報広聴課 電／0995-64-0955 FAX／0995-64-0934 ■印刷／(国分)新生社印刷

100



◎今月の表紙



集 落を抜け蛇行(だこう)する道路を走行中、樹木に遮(さえぎ)られた視界の先に突然満開の梅畑が現れた。車を止め小鳥が戯(たわむ)れていることを祈りつつ近寄ったところ幸運にも小鳥しかもメジロが花から花へと飛びまわっていた。あたりを警戒しながら旬の食材をおなかいっぱい食べて回るメジロたちは1時間ほどで山の楽園へ行ってしまった。

【撮影データ】 デジタルカメラ レンズ 300mmF/2.8 ISO100 1/500 F2.8

Editor's

取材でたけのこ掘りに同行させてもらい、土の中のたけのこを探しあてての初めて見ました。胡广ヶ野さんに独特の感覚でわかると言われ、試してみましたが、素人には違いがまったくわかりませんでした。イノシシは匂いで探しあててしまうと聞き、さらに驚いた一日でした(あ)

空港内ではいろいろな方言が飛び交い、再会を喜ぶ人、別れを悲しむ人などさまざまなドラマが繰り広げられている。時には有名人に会ったり…。取材中、浦和レッズの小野選手に会いビックリ!また足湯やギャラリー、レストランなど空港にはいっぱい楽しみが詰まっています(み)

昨年の夏の高校野球全国大会で鹿児島工業が活躍し大きな喜びを与えてくれました。先日、鹿児島商業が第79回選抜高校野球大会に21年ぶり12回目の出場を決めました。この鹿児島商業チームのメンバーに霧島市出身の選手が5人います。再び活躍することを願っています(い)

昨年12月号の広報誌が鹿児島県広報コンクールで「特選」を受賞。これも市民の皆さまのおかげです。紙面に登場していただいた皆さまありがとうございます。まだまだ広報誌による情報提供は不十分だと思いますが、これからも市民のための広報誌づくりにがんばります(た)

◎人口／128,330人(-22)
男性／62,057人(+5) 女性／66,273人(-27)
出生120人/死亡145人 転入307人/転出309人
◎世帯数／56,211世帯(-29)
(平成19年2月1日現在)



世界とつながる 空の玄関

4月1日に鹿児島空港は開港35周年を迎えます

鹿児島空港は、東に霧島連山、南に桜島を眺望できる高台に総面積182万㎡で形成されています。これまで、鹿児島空の玄関として多くのかたが利用してきた鹿児島のシンボルです。

鹿児島のシンボル

鹿児島空港は昭和47年4月1日に現在の場所に移転し開港しました。以来、35年間、鹿児島の空の玄関として鹿児島と共に発展してきました。

現在の場所に移転する前は、鹿児島市の鴨池にあり、そこが鹿児島の空の玄関でした。しかし、航空輸送が増大し、航空機の大型化やジェット化が進み、それに対処するためには滑走路の延長や騒音対策が必要でしたが、北側に河川や国道、人家が密集し、南側は錦江湾だったため滑走路の延長や騒音対策が困難で移転計画が持ち上がりました。新空港の候補地としては、知覧や谷山、鹿屋など6か所があげられましたが、地形や気象条件などの調査結果から昭和43年、現在の場所に決定。その後、用地交渉などが進められ、多くの地権者の理解と協力を得て開港することができました。

新空港から飛び立った1番機の機長や客室乗務員は全員が鹿児島県出身者。午前8時の離陸時には、その姿を一目見ようと送迎デッキに多くの人が集まり、手を振ったり拍手をしたりして祝いました。

その後、鹿児島空港は滑走路の延長や国際ターミナルビル、貨物ビルの設置など発展を続け、昭和47年の空港旅客数は1,721,192人だったのが、平成18年には5,715,253人まで増え、開港からの旅客数は1億6,400万人を超えています。また、見送りや出迎えに來られたかたなどを合わせると毎年、年間約1,000万人が空港を訪れています。

鹿児島県は昭和57年に国分隼人テノポリス開発構想を策定。県の重点施策の一つとして位置づけられ、鹿児島空港を中心とした交通アクセスの整備や観光、企業誘致を積極的に行い発展してきました。このことから、鹿児島空港は鹿児島のシンボルといえます。



Kagoshima Airport 35th Anniversary

鹿児島空港の歴史

昭和43年6月	新空港の建設地を十三塚原に決定	平成8年3月28日	鹿児島空港利用旅客数1億人達成
昭和45年3月29日	鹿児島空港着工	平成9年12月1日	国際線ターミナルビル増築工事完成
昭和47年4月1日	鹿児島空港供用開始	平成10年3月31日	鹿児島空港事務所、新庁舎竣工
昭和52年4月10日	与論線開設	平成14年8月28日	上海線開設(中国東方航空)
昭和54年11月1日	屋久島線開設	平成17年12月20日	天然温泉足湯「おやっとさあ」オープン
昭和55年10月2日	滑走路を3,000mに延長	平成18年2月16日	神戸線開設(全日空、日本航空)
昭和57年4月1日	国際線ターミナルビル供用開始		
昭和63年10月11日	貨物ビル供用開始		

空港が発展するためには アジアとの交流を

空港は安全・安心で定時性をもって運航できないといけないと思っています。特に一番気をつけているのが安全です。また、ユニバーサルデザイン・バリアフリーの観点から子どもから高齢者まですべての人に使いやすい空港が求められています。鹿児島空港もこの観点から、人に優しい空港を目指しています。

空港は地域との関わりが大きいところでもあります。現在、空港内では約2,500人が働いて、周辺の空港に関連する会社やその家族も合わせれば、10,000人以上の人が空港に近いところで関係しているといえます。空港は雇用の面でも地域に大きく貢献しています。

鹿児島空港に来られるお客さまを見てみると、一番多いのが東京から来られるかたです。また、最近ではアジアからのお客さまが増えており、中でも韓国からのゴルフツアー客が増えています。そういった意味では、アジアに近い鹿児島としては、国内はもちろんですがアジアにも目を向ける必要があると思います。鹿児島はたくさんの文化・旧跡や温泉があります。また、気候的に1年中ゴルフを楽しむことができます。そういった鹿児島の良さをお客さまに知っていただき、来ていただくことで新たな展望が見出され、地域の発展にもつながると思います。そのためには県外から来ていただくだけでなく、鹿児島のかたも出かける機会を増やすなど、交流を深めていくことが大切と考えます。



鹿児島空港長

猪瀬 俊和 さん

鹿児島空港はこれからも発展を続ける

空港をアミューズメント、 テーマパーク施設に

鹿児島空港は今年で35周年ですが、鴨池にあったところから数えると民間航空機が鹿児島に飛ぶようになって50年目という節目の年でもあります。鴨池にあったころは、1年間で利用者が18,000人でしたが、今では1日で16,000人、50年間で航空需要は飛躍的に伸びています。

今後、空港発展のために期待しているのが国際線です。最近ではアジアから来られるお客さまが増えていて、特に中国は2008年に北京で夏季オリンピック、2010年には上海で万国博覧会の開催が予定されているなど中国便はますます増えると思います。そのために、総合案内所に韓国と中国出身の職員を配置し、アジアからのお客さまにも対応できるようにしています。

空港の利用促進のために空港内にギャラリーやスポーツキャンプの紹介、マッサージコーナーなどを設置するなど、利用者のニーズに合わせたサービスを展開しています。特に平成17年12月に設置した足湯「おやとさあ」は、設置から約1年で10万人を突破するなど好評を得ています。今後も、いろいろなイベントやサービスを行い、空港に行けば何かしている、1日ゆっくり遊べるというような環境を作り、航空機を利用されないかたでも気軽に来れる、アミューズメント、テーマパークのような空港を目指し利用促進を図っていきたくです。

鹿児島空港ビルディング(株)
代表取締役社長

前山 健太郎 さん

企業の増加が人口増加に

空港の完成と九州自動車道の空港インターチェンジの設置で、交通アクセスがよくなり、この好条件を生かし企業誘致を進めた結果、多くの企業が霧島市に進出してきています。(表2)

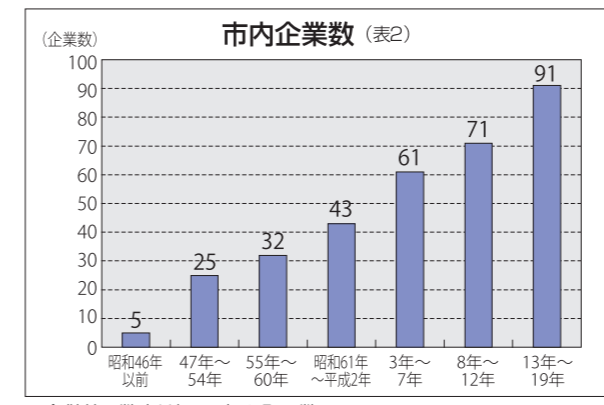
開港前は、霧島市内の進出企業は5社でした。しかし、開港後は多くの企業が進出。今では91社の企業が立地しております。霧島市が誕生してからだけでも11社が進出するなど、県内でも有数の企業数を誇ります。



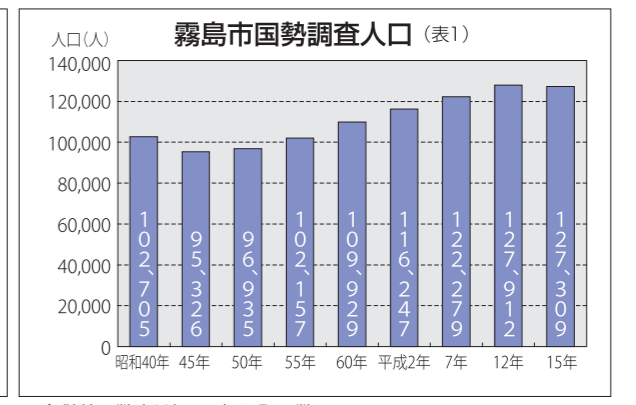
霧島市には現在16か所の工業団地があり、多くの企業が立地。雇用促進と地域の活性化につながっています。

横川町では、現在、18社が進出しています。横川町は昭和25年を境に人口が減少。その大きな原因が昭和28年の山ヶ野金山の閉山でした。閉山後は人口が急激に減り、特に昭和35年から40年までのわずか5年間で1、600人以上人口が減りました。この人口減少にストップをかけたのが企業誘致です。空港に近く横川インターが開設したことで、交通のアクセスに優れた場所となり、多くの企業が進出。雇用拡大につながり人口減少は大幅に減りました。

霧島市全体でも空港完成と共に企業が雇用の拡大につながりました。そのため県内外から多くの人が雇用を求めて集まるようになり、人口増加や地域活性化につながっています。



※合併前の数字は旧1市6町の数



※合併前の数字は旧1市6町の数

霧島市はアクセスや 人材確保に最適の場所

わが社は東京都で独自の無線通信技術を生かしてカーナビやエンジンスターターなどのカー用品を製造しています。今年5月からは鹿児島空港近くの鹿児島臨空団地で鹿児島工場操業を始めます。

霧島市への進出を決めたのは、空港や高速道路のインターチェンジに近く、台湾や中国から輸入する部品の物流や製品の輸送に便利であること。また、鹿児島には、まだまだ優秀な人材が残っており、人材確保の面からも考慮した結果、鹿児島を選びました。

今は高機能や安さだけでは売れない時代です。徹底したマーケティングによる独自性と商品化までのスピードが発展のカギ。そういった意味では、霧島市はアクセスが整い優秀な人材もそろっているなど、ますます発展するまちだと思えます。



ユビテル工業 安楽 憲彦 社長

空港ができて霧島市も発展

空港は鹿児島県の玄関口

遠くから鹿児島に来られるお客さまは飛行機を利用されるかたが多く、海外からの観光客も増えています。また、貨物も増えており、鹿児島空港は外の世界とつながる重要な玄関口です。

お客さまが最初に降り立つ場所である空港は、鹿児島の顔ともいえる場所です。空港に降りて最初に触れる人々が空港にいる人たちであり、最初に触れる情報が空港に置かれている情報です。そのため、空港は鹿児島の玄関口としての機能をしっかりと果たさないといけないと考えています。

県が進める利用促進

鹿児島は海外出国率が低く、多くの県民に海外に行ってもらいたいとき、国際化、国際感覚を養ってもらおうとの観点から、海外旅行を促進する支援策として、パスポート新規取得者モニター助成制度、国際交流促進ツアー助成制度、海外ビジネスツアー助成制度があります。

また、現在、空港へは6事業社443便のバスが運行しています。この中には鹿児島だけでなく宮崎県や熊本県へのネットワークも張られており、そういった意味では、南九州における基幹空港としての役割も担っています。そのため、空港へのアクセスバスについてどういった改善ができるのか、利用者からどういった声が出ているのかを関係団体と意

見交換をしているところです。今のところ、空港への公共交通手段はバスしかありませんので、当面は今あるものを良くしていく方向で検討しています。

空港発展のための県の役割

鹿児島県は大都市から遠距離にあるなど地理的に不利な状況にあります。しかし、そういった状況を航空機は克服してくれます。来年はNHK大河ドラマ「篤

アジアのゲートウェイとして

姫」やねりんピックが鹿児島であるため観光客は増えると思います。そういう観光の追い風を生かすために、空港の利便性を高めることは大切です。

また、数年前までは海外からの観光客が年間約500万人だったのが今では約730万人と増えています。きたるべきアジアの大交流時代を見据えたとき、鹿児島はアジアのゲートウェイのポジションにあると思います。国内では端に位置しますが、アジアとの距離では最前線にあり、観光や企業立地など色々な面で鹿児島空港、あるいはその周辺の地域は発展の余地があり、そのためには空港のネットワークの充実と空港へのアクセスの確保は県にとって重要なミッションです。これをバランスよく発展させていくことが鹿児島の発展につながると考えています。

◎ 国際線の安定的な就航を促す3つの制度

① パスポート新規取得者モニター助成制度

パスポートを今年度取得し、モニターツアーに参加したかたを対象にツアー料金を5,000円割引

② 国際交流促進ツアー助成制度

海外渡航先で現地のかたがたと交流を行う10人以上の団体に対して交流経費を助成（上限16万円）

③ 海外ビジネスツアー助成制度

海外で開催される展示会や商談会などに参加するビジネス利用者を対象にツアー料金を1万円割引



鹿児島県交通政策課長
田口芳郎さん

地元の航空会社として

航空を身近なものに感じられるよう貢献していきたい



栄正行さん
日本エアコミューター(株) 総務グループ長

わが社は霧島市が地元の航空会社です。霧島市は多くの人を呼び込めるチャンスが多く、また、全国的に見てもこれだけ空港と観光地が隣接している所は少なく、この好条件を生かすためにも、空港を活用した魅力作りが大切だと思います。また、航空を身近に感じてもらえるように、飛行機の見学会などを開催。「飛行機＝遠くに行ける」というイメージを持つことで世界観が広がるきっかけになったら幸いです。

美味しさ・癒しをいかした霧島地域の物語作りがさらなる観光発展につながる



渡辺さつきさん
鹿児島県観光連盟 (社)鹿児島県観光連盟

鹿児島を訪れる観光客は、食・癒しを求めているかたが多い。また、海外からの観光客はさらにレジャーを求めて来られ、中でも韓国からのゴルフツアーはすっかり定着しています。霧島市は黒豚、黒酢やお茶などの食、自然と温泉の癒し、そしてゴルフ場などがそろっています。霧島にある素晴らしい素材を独特な物語に作り上げると、もっとおもしろい観光ルートになり、市の観光発展につながると思います。

空港と地域の共生を指し示して

霧島市は素晴らしいまちです自分で体験して、そのすばらしさを多くのかたに伝えたい



池英珠さん
空港ビルインフォメーション (韓国出身)

鹿児島は魅力的なまちです。私の仕事は、その魅力をお客さまに伝えること。そのために、自分でも登山や観光地を回り、自分が感じた魅力をお伝えしています。私が業務を通じて感じていることは、アクセスの充実です。路線バスが走っていますが、地域によっては乗換えがあったり、1時間半以上もバスを待たなければいけなかったりする地域もあり、もう少しアクセスが良くなれば空港をもっと利用しやすくなると思います。

鹿児島は魅力がいっぱいあるのに中国ではまだまだ無名ですターゲットを絞った宣伝が必要です



轟耀飛さん
霧島市国際交流大使・元霧島市国際交流員 (上海在住)

中国では鹿児島のことはあまり知られていません。日本への観光客は東京や大阪などに行くかたが多く、何度も日本に行くかたは富裕層が多いです。上海には鹿児島のような観光資源が無いので、鹿児島の魅力をもっとPRし、ターゲットを富裕層に絞った観光コースを作ることが観光客増加につながると思います。上海は鹿児島から近くて、治安がよく、料理のいいまちです。皆さんもぜひ、遊びに来てください。

世界とつながる霧島市

今年、4月1日に空港開港35周年を祝う記念イベントが、また、秋には全国の空港所在自治体が集まる「空港フォーラム」が霧島市で開催されます。国や県、市、空港関連企業などが一体となって将来を見据えた空港対策を模索することができる、まさに鹿児島空港の大きな転換期と起爆剤になる年です。

空港はこれまで多くの発展と可能性をもたらしてくれました。そしてこれから。アジアからのお客さまも増え、今後はアジアのゲートウェイとして更なる発展が見込めます。

鹿児島空港は日本だけでなくアジアともつながり、そして、アジアからは世界へ。霧島市は空港を使って世界にも視野を広げることができます。さまざまな分野で世界と交流することができ、可能性は大きく広がります。皆さんも鹿児島空港から世界を感じてみませんか。新たな可能性が見つかるかもしれません。



平成17年12月にオープンした鹿児島空港の天然温泉足湯「おやっどさあ」。長旅の疲れを少しでも癒してもらおうと設置されました。今年1月24日には利用者が10万人を突破するなど大好評です。



南日本新聞の平成19年2月20日付「記者の目」で、
市職員の時間外勤務手当と
国民健康保険税に対する指摘がありました。
これまでも数回取り上げられたところです。
広報広聴課では、この指摘を真摯に受け止め調査しました。
心配りが足りなかったところは反省し、
今後は同じことを繰り返さないように
対処していきたいと考えています。

広報係では2月21日、職員課と保険年金課、収納課から聞き取りを行いました。内容は次のとおりです。

時間外勤務手当について

一昨年の合併前後には、だれも経験したことのない特別な仕事がありました。一つ目は予算関係で、合併直後には合併前日までの旧自治体の合計52本にも及ぶ会計ごとの決算作業をしながら、平成17年度の新市の暫定予算、新市の当初予算にあたる本予算、3月補正予算の編成作業と同時に平成18年度の当初予算編成を12月議会が開会されている中でしなければならなかったことや3か月余りの間に臨時議会、12月議会、3月議会と3回の議会が開催されたことなど、短期間に業務がいくつも重なる

が県下で上位にランクされており、医療費が各旧市町で高騰する中で合併であったといえます。このような状況の中で、霧島市全体での医療費は毎年平均5割程度の伸びを示しており、この医療費の増加を補てんするため、平成17年の合併時には約5億3千万円あった基金も平成18年度予算編成時にはほとんど取り崩しました。平成18年度末には約4千万円に減少する見込みです。現在の税率による収入額では、平成19年度には約8億円の不足が生じ、医療費を賄うことができない状態が予想され、今回税率の統一と同時に大幅な税収入の増額を余儀なくされました。

合併直後の非常事態であったということ。二つ目は、窓口業務に関する電算関係です。新しい電算システムの導入に伴って住民・税・福祉関係のシステム変更があったこと。またシステムの予測できない不具合などがありました。三つ目に合併直後の旧自治体ごとに選挙区分を分けて行った議会・首長選挙の事務がありました。

また、予算編成作業などの理由により、財政課で平成18年2月には勤務時間が月200時間を超える職員が11人いました。仕事の内容により時期によっても勤務時間が長くなることもありますが、平成17年の11月と12月の時間外勤務が58、396時間、平成18年の同じ月で29、324時間と、約半分に減っていますし、全体的にみてもそう

また一方では医療費を抑える取り組みも大切だと考えています。少子高齢化で増大する医療費の抑制策として、1日人間ドック費用の一部を助成し受診することに、疾病の早期発見・早期治療を図ります。保健師・看護師などによる訪問指導などを実施し、病気に對する正しい知識の習得、食事や運動など日常生活の改善についての指導を行い、被保険者の積極的な健康づくりを推進します。このようにいろんな角度から国民健康保険事業を見直し運営していく考えです」

前田市長に聞きました

「私は県議の時代から報道関係者とは、いいパートナーシップを持つことを心がけています。国民の知る権利が民主主義社会を支えており、それは普遍の原理だからです。その担い手の一つが新聞と考えています。今回、広報広聴課からこの企画を持ちかけられて、説明責任を果たす一助になればと考えました」

時間外勤務手当と国民健康保険税の税率改正については次のとおりです。

「だれもが経験したことのない1市6町という県下最大規模

なっています。

職員課長に聞きました

職員の時間外勤務手当について、津曲正昭職員課長は次のとおり話しました。

「時間外勤務は時間外勤務の必要性、健康管理を配慮して勤務命令を行うように管理職に通知しています。月100時間を超えるような長時間勤務者には、保健師による健康相談や健康管理医による面接指導も実施し、健康管理に努めています。長時間勤務の原因が職員数の不足により生じた場合は、可能な範囲で職員の異動により対処しました。ただ、専門的な業務で定期的に忙しいケースなどは、時間外勤務で対処しなければなりません。そして、残業が慢性化しない仕事のシステムと職場環境

の広域合併、そのことで予想できないことも起こると思います。私たちは試行錯誤を繰り返しながら、理想の霧島市を築いていくものと考えています。また、国民健康保険税の税率改正は、今後の霧島市にとって避けて通れない課題です。改正によって税金が高くなる人、安くなる人それぞれですが、きちんと説明をしていきたいと思っています」

市ではこれまでに市内14か所で説明会を開いてきました。広報広聴課では、ここで出された質問と回答の内容を、次の広報誌や市のホームページなどで紹介しようと考えています。

2月26日に「霧島市集中改革プラン」を発表しました。これは本格的な地方分権社会が到来したことから、簡素で効率的な行政の仕組みを確立することが目的です。新しい霧島市の姿が見えてくると思います。

「簡単に説明すると、市民の視点に立った改革が、集中改革プランということになります。民間の顧客満足の考え方を取り入れながら、質の高い行政サービスが提供できるよう改革を行います。改革の項目が全部で185項目ありますが、新しい公共サービスや公共空間を形成す

づくりが時間外勤務手当の適切な支出につながると考えています」

国民健康保険税 税率改正の中心

平成19年度国民健康保険税収入を38億円見込むために低所得者層に配慮し、法定減免、7割・5割・2割軽減を堅持した国民健康保険税、医療一般所得割13・5割、均等割31、600円、世帯平等割28、200円の税率を設定しました。資産割を除いた理由は、所得階層別の資産割合を分析した結果、世帯の所得が100万円以下の低所得階層における資産割の課税されている割合が、世帯数では57・5割、固定資産税額では、40・5割を占めており、偏った税制になっていたため今回の税制改正になりました。

保険年金課長・収納課長に聞きました

国民健康保険税の税率改正について、坂元良行保険年金課長と横手航太郎収納課長は次のとおり話しました。

「合併前の平成16年度の統計で、1人あたりの医療費は旧福山町、旧霧島町、旧横川町などるための戦略本部が市役所になり、新しい視点に立って進めるものです」

その集中改革プランの主だった内容を次回の広報誌でお知らせします。市役所の仕事の仕方やモノの考え方が大きく変わるのが「行政改革」だといわれています。例えば、4月1日からグループ制を導入します。課というグループで仕事をしていくという考え方で、係がなくなることから、職員が効率的に動くことができ、意思決定と事務処理のスピードアップにつながります。また、市役所に出かけた時、電話での問い合わせをしたり、電話でも聞いてもらいたいように「よくある質問集」を作成し、ホームページに掲載します。このことが軌道にのればコールセンター（電話応対サービス）を設置する予定です。その他に時差出勤を導入し、窓口業務などの業務延長も検討しています。これはまだ構想段階ですが市民の視点に立った改革を進めようとする一端でもあります。

広報広聴課では、今後も市民の皆さまにとって身近な問題をわかりやすく情報提供しようと考えていますので、ご愛読をよろしく願います。

南日本新聞「記者の目」に対する見解

市民の視点に立った行政を進めます

7から版!!

POINT OF VIEW

Zoom up Kirishima

きりしま

KOKUBU KIRISHIMA MAKIZONO YOKOGAWA HAYATO MIZOBE FUKUYAMA

Kirishima topics 01

学校給食を 理解してもらおう

舞鶴中学校では学校給食の中で、地元でとれたものを使って子どもたちを育てようと「鹿児島をまるごと味わう学校給食」、「かこしまを食べてそだつぞ元気な子」をスローガンに地産地消の推進に努めています。この取り組みを保護者や地域のかたにも理解してもらおうと1月24日、試食会をしました。

献立は麦ごはん、軟骨のみそ煮、大口地方のお菓子ちよへらん団子など県産の材料を使ったものばかり。参加した保護者は「地元の食材を使っているのが安心だし、栄養のバランスが考えてあり、とてもありがたい」と話していました。



日ごろ子どもたちが食べている給食を味わう保護者ら

Kirishima topics 02

国分桃太郎トマト 全国へ発送

2月8日、国分桃太郎トマトゆうパックの全国発送出発式が国分シビックセンター市民広場で行われました。

このトマトは国分園芸振興会トマト部会が、国内でも有数の日照時間を誇る温暖な国分平野の気象条件を生かしながら、ハウス栽培しており、一昨年度よりサラダ感覚のファーストトマトに代わり、より甘みとコクの強いフルーツ感覚の完全系トマト「桃太郎トマト」へと主な栽培品種を変更して、大好評を得ています。

同ゆうパックは平成元年から開始。18〜24個入りで2,000ケースの販売を目指しています。



郵便車にトマトを積み込む局員

Kirishima topics 03

建国記念の日を 盛大に祝う

2月11日は建国記念の日。道義高揚運動、生涯学習の推進に取り組む霧島市はこの日、国の誕生を祝い、先人の偉業に感謝し、国を愛する心を養い、より豊かで平和な日本を築くことを目的として、「建国記念の日祝賀式典」を行いました。

式典では前田市長が「祖先から受け継いだ精神や愛国心を持ち、心を一つにしてわが国を取り巻く課題解決に取り組みましょう」とあいさつしました。

また、自衛隊国分駐屯地音楽部や霧島九面太鼓育徳会による演奏や詩吟朗詠、葉丸野太刀自顕流の力強い演武などがあり、式典を盛り上げました。



オープニングに演奏する自衛隊国分駐屯地音楽部の皆さん

Kirishima topics 04

そばうち体験で 地元と交流

1月21日、塚脇公民館(国分)でそば打ち体験がありました。ひとりでも多くのかたに塚脇を知ってほしいという思いで「塚脇の学校を灯し続ける会」が主催して、小学生のいる家族や定年退職を迎えるかたを対象に実施し、遠くは枕崎市などから18人が参加。地元のかたがたに指導されながら、そば打ち体験をしました。

使用したそば粉は、同会が種まきから収穫までしたもので、その味を参加者らは十分堪能しました。

鹿児島市の高城淳也君は「むずかしかったけど、うまくできた」と話していました。



地元のかたの指導のもと真剣に取り組む参加者

Kirishima topics 05

パキスタンから 先生が来たよ

「どこの国の子どもも同じ、人懐っこくてかわいい」とパキスタンから来たヒラル・アマド・ワニさん(38)。

1月26日、日本の教育を学ぶ(財)鹿児島県青年会館が主催したJICA(国際交流機構)の国際交流事業がパキスタンの先生ら15人を迎えて永水小学校(霧島)でありました。子どもたちと一緒に給食を食べた後は、日本とパキスタンの遊びを体験、大きな笑い声が体育館に響いていました。

ヒラルさんに日本の印象を尋ねると「時間を守る、みんな正直、そしてゴミがなくてきれい」と話してくれました。



遊びを通じて子どもと交流するパキスタンの先生

Kirishima topics 06

初市でにぎわう 国分旭通り

国分の伝統行事「くぶ初市」が2月10、11日の2日間にわたって国分旭通りで開催されました。歩行者天国となった通りには植木や鉢物、竹細工など約250軒の露店や植木屋が立ち並び、家族連れなど約7万人が詰めかけました。また、市内の中学生によるエイサー会が太鼓を打ち鳴らしながら練り歩き、通りはにぎわいを見せました。

今年は初市にあわせ「第1回きりしま初市春まつり」が国分山形屋前で開かれ、陶器や特産品の販売など約20店舗が立ち並び、九面太鼓和奏の演奏のほか、もちや千人鍋が振る舞われ大盛況でした。



通りに出された店で買い物を楽しむ人々

Kirishima topics 07

生涯学習推進に 生かそう

2月21、22日の2日間にわたって、全国生涯学習市町村協議会が主催する「平成18年度南日本生涯学習シンポジウム」がホテル京セラで開催され、全国から約250人が参加しました。

これは地域を創造し活性化するため、地方自治体が他市町村の取り組みや社会の現状をとりえ、今後の生涯学習を推進できるように実施されました。

宮崎緑さんによる「地域に魅力を創る」と題した記念講演の後、聖徳大学福留強教授をコーディネーターに5人のシンポジストが生涯学習による地域の取り組みについて意見を交わしました。



熱心に意見を交わすシンポジスト

きりしま

旬素材

食べてみよんせ。



暖

冬の今年はひと足早い春の訪れを感じさせます。春の味覚を代表する食材「たけのこ」が旬を迎えます。

横川地区の胡戸ヶ野志郎さんは、畜産業を営む傍ら、自宅近くにある竹林でたけのこを掘り、出荷しています。

たけのこは竹の地下茎から出てくる若芽。親竹が光合成で蓄えた栄養をたっぷりもらい成長します。胡戸ヶ野さんは約1反におよぶ竹林に堆肥を入れたり、たけのこが発生しなくなった古い竹を間引いたり、除草したりするなどし、手入れをしています。そうすることで土がやわらかくなり、程よく光も差し込み、たけのこがよく育つといえます。

胡戸ヶ野さんは雨靴を履いた足で土を踏みながら、また土の中に埋まっているたけ

のこを探しあて、クワを使い、あっという間に掘っていきます。

たけのこには淡竹、真竹などいくつか種類がありますが、胡戸ヶ野さんが生産しているたけのこは孟宗竹で、外観は皮に茶色のピロロドのような毛が生えていて、味は柔らかくて甘みがあります。

今年は、裏年だった昨年に比べ生産量も上がるのが期待されます。

「たけのこは収穫してから時間がたつほどアクが強くなるため、掘りたてが一番おいしい」と話す胡戸ヶ野さん。

横川物産館「よいんせ」には7月上旬ごろまで地元で採れた新鮮なたけのこが並びます。

◎横川物産館「よいんせ」 ☎ (64) 6088

春の食材たけのこ 歯ごたえと さわやかな香りを味わって

たけのこは食物繊維の豊富な食材です。便秘の予防・改善だけでなく、コレステロールの吸収を抑え、腸内の有害物質を体外に排出する働きもあります。カリウムも多く含んでいるので、ナトリウムの排出も促し、高血圧の予防にも有効です。また、特有の香りやアクは味覚を刺激して冬から春へと体のリズムを整えてくれます。

たけのこのバター炒め HOW TO COOK!



【作り方】
①あらかじめ下ゆでしておいたたけのこ、いか、グリーンアスパラガスを適当な大きさに切る。



②いかとたけのこをバターで炒め、おろしにんにくとグリーンアスパラガスも加える。塩こしょうで味を調え、しょうゆで香りをつける。

【材料】(2~3人分)
たけのこ(ゆでて皮をむいたもの)…200g・いか…1杯・グリーンアスパラガス…10本・おろしにんにく…少々・バター…適量・しょうゆ…少々・塩こしょう…少々

※下ゆでの手順=頭の部分を斜めに切り落とし、皮の部分に縦に切り込みをいれたものを、米ぬかや鷹の爪などを入れ竹串が通るまでゆでる。火を止めそのまま自然に冷ます。



◎横川町下深川
胡戸ヶ野志郎さん



人の風景

THE SCENE

霧島に生きる

「楽しむためには、うまくならないといけない。そのためには目標を持ち、向上心を持つことが大切」と話す田中美音選手。

大阪府出身、中学でハンドボールを始め、四天王寺高校では高校選抜大会で全国優勝。その後、社人となり、平成14年からはソニーセミコンダクタ九州に在籍。日本ハンドボールリーグで133試合、全試合出場、全試合得点、そして、今年2月3日に女子ではじめて1,000得点を達成、男女総合でも二人目となる快挙を成し遂げました。

昭和61年創部のソニーセミコンダクタ九州は、緒方副監督が就任した3年前から力をつけ、一昨年と昨年に鹿児島県代表として出場した国民体育大会で2連覇しました。その原動力は18歳から日本代表としても活躍している田中選手。

前人未到の1,000得点

2月3日、前の試合で1,000得点まで後9点。この日は国分体育館にHC名古屋チームを迎えました。緒方監督から「今日決める」と送り出され、応援団が見守るなか前半に8得点。そして後半11分、そのときは訪れました。ゴール前に飛んだ161センチの田中選手は空中でボールを受け取りゴール左下にシュート。華麗なスカイブレイで1,000得点目を決めると敵味方関係なく会場から祝福の拍手が送られました。

試合終了後のインタビューで「これで周りに気を使わなくてすむかな」と応え、チームメイトから贈られた小さくす球を片手に満面の笑みを浮かべていました。

リーグでの優勝をまだ経験したくない田中選手は、3月末の優勝を決めるプレイオフでの勝利を目指しています。

うまくなるためには目標を持ち、向上心を持つことが大切

RUN&RUN



田中美音子さん
SONY ハンドボール部

大阪府豊中市出身。32歳。四天王寺高から1993年、日本リーグの大和銀行(当時2部)入り。2000年から2年間、デンマークでプレー後、02年にソニーセミコンダクタ九州に移籍。現在はコーチ兼任。日本リーグ1部では最優秀選手賞を2度、得点王は昨季を含む4度獲得。98年バンコク・アジア大会で得点王となり、全日本での出場108試合も歴代1位。



女子初の1,000得点を挙げた田中美音子選手の快挙を喜ぶチームメイト

このページは第一線で活躍する専門家に寄稿していただきます。霧島市に何らかの形でご縁のある方々で、縁のあった「人」「自然」「文化」などを題材にシリーズでお届けします。読者の皆さんが霧島市のよさを再認識したり、新しい価値観を再発見できたりする紙面を目指します。地域づくりを創造する核の一つになれば幸いです。今回は鹿児島県観光プロデューサーの其田秀樹氏に観光について寄稿していただきました。

第10回

きりしまを

変えて

みませんか？

一 昨年9月から鹿児島でお世話になってます。約30年の観光業の経験を鹿児島おこしに生かしてほしいということ

で鹿児島県観光連盟に籍を置いて動き回っています。着任以来あつという間に1年6か月が過ぎ、自分でも驚いています。赴任3か月でまとめ、知事にお渡しした「10の提言」については県や県観光連盟のホームページにも掲載さ

れましたのですでにお目通しいたいたかたも多いのではないかと思います。

着任早々の新鮮なよそ者の視線での提言は今読み返しても大きな修正を加える必要性をあまり感じません。つまりその時点で気付いた多くの問題点が今日に至るまで改善されていない、もしくは目に見える形での前進が図られていないということにほか



り個々の旅行者のニーズにびったり合った、はまり具合のいい、非日常的空間ではなく、ノスタルジックな日本に目が向き始めました。これまでの大都市、大観光地からあまり目が向けられてこなかったより小規模な地域に関心が移るようになってきました。しかも箱・モノを敬遠し、あるがままの地域の姿があるがままに楽しむという機運が高まったと感じます。これがツーリズムであり、これから交流人口の拡大を目指す地域に必要な物差しです。鹿児島市、霧島市、指宿市は従来型観光の主要な受け皿として成長してきましたが今後徐々にツーリズム型に切り替える必要があると考えます。その他の地域は最初からツーリズムの物差しで今後の計画を練り直すときです。

私も昨年年末申し上げました。これは私の率直な意見です。ツーリズムの実践者の養成機関として国の支援で10年も前にスタートした九州ツーリズム大学で学んだ鹿児島出身者は何と2月現在ゼロです。東京、沖縄、北海道からも学びにやってくるのに隣接県鹿児島だけはなぜかゼロです。熊本、大分には何百人もの卒業生が薩摩の外域制度のごとく県内各地に点在し、各地でまちおこしの中心として活躍しています。地域密着型農家レストランとして成長著しい福岡県岡垣町の『ぶどうの樹』の社長は親子二代の卒業生ですし、人吉の『ひまわり亭』の主宰者もそうです。旅館再生に情熱を注ぐ社長、雑誌「九州のムラ」編集長などなど活躍例は数え切れません。もちろんこのツーリズム大学がすべてではないかも知れませんが少なくとも鹿児島が過去10年間ツーリズムの波に乗り遅れてしまったことは否めない事実で



霧島市グリーン・ツーリズムモニターツアー
2月18日、隼人町嘉例川地区のシイタケ山でホダ木の説明やシイタケ狩りを楽しんだ。

なりません。私はこの「10の提言」をまとめる前から今後の旅行形態が単に団体型から個人型に変わるだけでなく旅行者の旅に対する価値観が大きく変化していることに鹿児島島の関係者が気付いていないのではないかと考えていました。われわれが従来使ってきた観光という網から簡単にすり抜けてしまってお客さまが今後急速に増えてくるといことです。実はこのことは日本の旅行業界も少なからず認識し、対応を練っているのですが、変化は想像以上に早く、対応に苦慮している状況なのです。これは従来型の旅行社に限らずいわゆるネット系の旅行社も基本的には同じです。

要になつてきました。もはや教本に基づいた画一的・均一的な説明が高く評価される時代ではなく、各ガイドの個性、経験に裏打ちされ、相手の理解度に合わせた臨機応変な説明、事実を脚色なく伝え、客観的事実に加え、生活者としての自分の意見を重ねて描くオリジナルパッチワークの世界、そこに住む者の目線があつてこそ読み解くことができる歴史、簡単に言えばこういう考えと実践がツーリズムです。ロボットの均一性より人間の不均一を好み、デジタルじゃなくアナログを大切にする姿勢。これらもツーリズムの指向とも言えるでしょう。

今求められる新しい網は従来よりもっと細かな目で編まれた地域密着型ツーリズムの網です。馴染みのないかたでもグリーンツーリズム、エコツーリズムなど冠の付いた名前ならお聞きになつたことがあるでしょう。世界自然遺産として有名な屋久島はエコツーリズムの実践の場として内外から視察も多いところです。このツーリズム的な考え方は屋久島以外の地域においても今とても重

り光を観ることに主眼が置かれていました。これまでの観光は文字通り高度経済成長時期までは全国的にデイスカバリーパンで知られるように常に新しい目的地に向けて実路型観光旅行が企画されました。しかし狭い日本です。国内の大所をだいたいカバーした観光世代が次に向かったのは海外旅行でした。しかしこれも主要な国はほとんど行き尽され、今再び国内旅行が見直されています。ただ従来型の観光の時代は終わ

す。だから急ぐ必要があるんです。これ以上他県に離されては大変なことになります。

今

年1月1日観光憲法とも言える観光立国推進基本法が施行されました。この中には観光産業の未来像が描かれていますが同時に今の観光業の業態がマーケットの変化に追いつかない問題点も指摘されています。また交流人口拡大のためには地域にもっと軸足を置く必要があることもうたわれています。ツーリズム教育の必要性も明記されています。具体的には北海道大学に初の観光大学院も設置されます。旅行業法にお

いても初の着地型旅行業が認可されるようになります。今回旅行の推進基本法はそういう意味で日本の観光のありかたそのものの大きな転換軸となる内容を包括しています。ツーリズムの文字は使われていませんが内容からすればツーリズムの重要性を訴えているんです。このことを鹿児島島の皆さまに広く認識していただき、これまでの遅れを取り戻す具体的な行動が必要です。私はこの新しい基本法に基づく観光かごしまの再生に向けて地域の皆さんと一緒に汗を流したいと考えています。

エッセー

Essays

地域

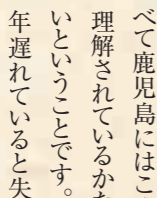
Regional

ぶくら

Creare

文 其田 秀樹

Sonoda Hirotaki



そのだひでき 宮崎県出身
昭和49年に株式会社日本交通公社入社。グラム支店マネージャー、九州営業本部調査役、シンガポール支店次長、バンコク支店長等を歴任。
株式会社ジェイティビー九州物産センター海外企画任人課長。
平成17年9月から鹿児島県観光プロデューサーに就任。
現在、観光関係団体・機関等との連携に係る総合調整や鹿児島県ならではの地域資源を活性化など、本県観光全般に亘るプロデュースに取り組んでいる。
平成17年12月、県内観光に関する「10の提言」をまとめ、公表。



モニターツアー参加者は39人。
昼食は地元の山、川でとれた食材を使った料理。
午後からは国分春山地区でイチゴ狩りを楽しんだ。

Photograph exhibition

第3回きりしま写真展

2月14日から28日まで市役所市民ギャラリーで、「第3回きりしま写真展」が開催されました。

今回の写真展では、「霧島市の美しい自然環境」をテーマに募集し、霧島市内外より158点の応募作品があり、写真の色調や構図を中心に、厳正な審査の結果選ばれた17点の作品が展示されました。

市民ギャラリーでは年間を通して絵画や書道など、文化芸術作品が展示されますのでご鑑賞

- ください。
- 特別賞入賞者は次の通り
きりしま賞 (敬称略)
- 「古代ロマン霧島」 蒲生 義幸 (霧島市国分)
 - 「黒酢の郷」 鮫島 孝 (鹿児島市)
 - 「雲海」 野口 悟 (鹿児島市)
 - 「冬の霧島山」 福末 光文 (鹿児島市)
 - 「まもなく104年輝く駅舎」

- 石黒 巖 (霧島市横川)
- 「バージンズノー」 大迫 哲郎 (霧島市隼人)
- 「大浪池と霧島平野」 福西 誠幸 (鹿屋市)
- 入選
 - 内村 稔 (鹿児島市)
 - 関 民子 (霧島市国分)
 - 岡元 安廣 (霧島市隼人)
 - 長 勝幸 (鹿児島市)
 - 加治木 美保子 (霧島市牧園)
 - 金田 敏子 (鹿児島市)
 - 大社 正照 (鹿児島市)
 - 馬場 文代 (霧島市横川)
 - 福元 徹 (鹿児島市)
 - 宮田 忠 (霧島市隼人)



◎きりしま賞
「古代ロマン霧島」
蒲生 義幸



◎金賞
「黒酢の郷」
鮫島 孝

Uprising

◎青少年育成センターだより

霧島市立青少年育成センターだより

「青少年育成コーナー」
減少傾向の青少年非行、霧島市立青少年育成センターでは、青少年の事故や問題行動を未然に防ぐため、国分・溝辺・横川・牧園・霧島・隼人・福山の各地区を夕方と夜間に補導委員などで巡回指導を実施しています。この1年間大きな事故などは耳にしていません。

市では、青色回転灯装備車(青バト)3台を導入しました。今後、青バトを「子どもたちを見

守るシンボル」として効率的に活用して、さらなる青少年の健全育成に努めてまいります。

【教育相談コーナー】
「ひとりりで悩まないで、お気軽に相談(電話・来所)を」
昨年4月から2月までの相談件数は90件を超えました。電話相談だけでなく、来所相談も増えています。

お子さんのことなどで少しでも困ったこと、苦しんでいることがありましたら、いつでもご連絡ください。家庭(保護者、本人)だけでなく学校(先生がた)の相談もお待ちしております。

※相談日は、月曜日～金曜日(午前9時～午後7時)

◎問い合わせ先 霧島市立青少年育成センター ☎(47) 6750

春の「郷土に学び・育む青少年運動」月間
「3月11日～4月10日」
県では「郷土に学び・育む青少年運動」月間として、青少年の健全育成の取り組みを推進しています。

親(大人)として、次の活動にかかわりましょう!

- 活動
- ・ 地域の子どもの顔なじみになり、地域のおじさんおばさんになって、あいさつや励ましの温かい声かけをしましょう。
 - ・ 地域の行事に参加させましょう。
 - ② 明るい家庭づくり
・ 年齢に応じた生活習慣や社会のルールを身につけさせましょう。
 - ・ 子どもの新しい生活への希望や夢について家族みんなで話し合ひましょう。
 - ③ 非行防止活動
・ 喫煙・飲酒・薬物乱用の防止、

- ④ 環境浄化活動
・ 青少年に有害な図書などを買わせないようにしましょう。
- ・ インターネット上の有害情報などは、親(大人)がきちんと管理しましょう。
- ⑤ 大人(親)が変われば子どもも変わる
・ 地域の子どもの地域で育てる環境づくりを進めましょう。
- ・ 家庭では親が自分の生き方を見直し、子どもの手本となるように努めましょう。

Tax

◎税務情報

固定資産をお持ちのかたへ

平成19年度の土地・家屋価格などの縦覧ならびに固定資産課税台帳の閲覧を行います。

●土地・家屋価格などの縦覧
土地や家屋の評価が適正であるかどうか、他の土地や家屋と比較できる帳簿が閲覧できます。(帳簿には所有者名や税額は記載されていません)

〈縦覧期間〉
4月2日(月)～5月31日(木)
(土・日・祝日を除く)

〈縦覧できるかた〉
・ 固定資産税の納税者(霧島市内に土地または家屋をお持ちの納税者)
・ 固定資産税の納税者の代理人
● 固定資産課税台帳の閲覧
所有する土地・家屋の所在地、用途、面積、評価額などが一覧できる課税台帳(名寄帳)が閲覧できます。(主な記載事項については、5月上旬に固定資産税納付書と一緒に送付する課税明細書でも確認できます)

〈閲覧期間〉
平成19年4月2日(月)～平成20年3月31日(月)(土・日・祝日を除く)

成20年3月31日(月)(土・日・祝日を除く)

〈閲覧できるかた〉
・ 固定資産税の納税者
・ 固定資産税の納税者の代理人
・ 借地借家人など
〈縦覧・閲覧場所〉
市役所税務課(1階13番窓口)または各総合支所税務課。
※どの場所でも市内にお持ちのすべての固定資産について縦覧・閲覧ができます。

〈必要なもの〉
* 印鑑(代理人の場合は委任状(任意の様式で可))
* 縦覧・閲覧されるかたの身分

を証明できるもの(運転免許証・健康保険証など)
※借地借家人が課税台帳を閲覧される場合は、賃貸契約書

◎問い合わせ先 税務課固定資産係 ☎(64) 0902

軽自動車などの抹消・変更の手続きはお早め!
軽自動車税を納めなければならぬ人は、毎年4月1日現在で原動機付自転車・軽自動車・小型特殊自動車・二輪の小型自動車所有されているかたです。軽自動車などを人に譲ったり廃車したりしたときは、早めに

手続きを済ませてください。手続きを忘れると、引き続き課税されますのでご注意ください。

・ 原動機付自転車、農耕作業用自動車、小型特殊自動車の手続きは税務課諸係各総合支所税務課に、二輪車(125ccを越えるもの)、軽自動車(三輪、四輪)の手続きは、最寄りの自動車販売店、もしくは直接軽自動車協会にご相談ください。

◎問い合わせ先 税務課諸係 ☎(64) 0902、各総合支所税務課、軽自動車協会 ☎099(261) 4011

Annuity

◎年金情報

国民年金ごんなどときにはこんな手続きを

国民年金は、日本国内に住所がある、20歳以上60歳未満のかたすべてが加入する制度です。届け出を忘れると、将来受け取る年金額が少なくなったり、受けられなくなったりする場合があります。次のようなときには、市役所へ自分で届け出をすることが必要です。

●20歳になったとき
農業、自営業、学生、勤めていても厚生年金に加入していないかたが20歳になったときは、

「国民年金被保険者資格取得届」が必要で、会社などを退職したとき、または勤めを辞めて国民年金被保険者の配偶者となったときは、「国民年金被保険者種別変更届」が必要で、収入が増え被扶養配偶者でなくなったとき(パート収入が130万円以上になったとき)は、「国民年金被保険者種別変更届」が必要で、配偶者が退職したとき

配偶者が退職し、会社員や公務員でなくなったときは「国民年金被保険者種別変更届」が必要です。

●学生納付特例制度について
20歳以上の学生は「第1号被保険者」です。学生には学生本人の前年の所得が一定額以下の場合、保険料の納付が卒業まで猶予される「学生納付特例制度」があります。学生納付特例の申請手続きをしなかったり、保険料を納め忘れたりすると、在学中に事故や病気で障害が

残っても障害基礎年金が受けられませんが、今、学生納付特例が承認されている人も4月になったら19年度の手続きが必要で、手続には、印鑑と学生証または在学証明書が必要です。

対象となる「学生」とは、大学(大学院)や短大、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校などに在学する昼間、夜間、定時制、通信過程の学生です。

平成19年度の年金相談日

4月19日(木) 本庁
5月17日(木) 霧島総合支所
6月14日(木) 本庁
7月19日(木) 牧園総合支所
7月26日(木) 霧島総合支所
8月16日(木) 本庁
10月18日(木) 本庁
11月15日(木) 横川総合支所
12月13日(木) 本庁
1月17日(木) 溝辺総合支所
2月14日(木) 本庁
3月13日(木) 霧島総合支所
3月27日(木) 福山総合支所
◎問い合わせ先 保険年金課 国民年金係 ☎(64) 0886、各総合支所国民年金係

牧之原小学校
和牛少年隊

畜産のまちの和牛少年隊

5年生全員で畜産農業を学ぶ



牛のことを楽しく学んだ子どもたち

牧之原小学校は、昭和48年に創立。その後4つの学校と統合し、現在307人(男子161人、女子146人)の児童が学んでいます。「思いやり、きまり正しく、ねばり強く」を校訓として、豊かな心を持ち、自ら考え、自ら学び、たくましく生きる子どもを育成を教育目標に掲げています。同小では、総合的な学習時間を5年生の学習課題とし、福山地区の基幹産業である畜産を学習させることにより郷土福山への愛着を深めさせるとともに、動物を愛する心を育て、さらに畜産農業への理解を深めることを目的として、平成6年度に和牛少年隊が結成されました。現在の隊員数は52人。

調査活動

調査活動の内容は、1学期は地区内の和牛生産農家で飼育体験をします。仔牛にミルクを飲ませたり、牛小屋を掃除したりと和牛農家になりきって取り組みます。2学期は農家体験で得たことをもとに、課題を立て調査活動に入ります。分からないことなどは、再度農家のかたに質問をします。そして、総まとめの3学期には地区の肉用牛振興大会で、研究成果を劇にして

まとめ、農家のかたが見ていただきます。年間を通しての活動は、調査活動を主体としながら、さまざまな体験学習や発表などを行い、児童が興味を持って取り組むことができるように考えています。

5年1組の稲留優美さんは「牛のことを学んだり調べたりするうちに、だんだんおもしろくなってきました。人と同じように牛を大事にする農家の人たちの気持ち理解できました」と話してくれました。



◎牧之原小学校
松下 幸隆先生

牧之原小学校5年生の担任として和牛少年隊の指導を17年度からしています。私自身、畜産のことが分からず戸惑いがありましたが、子どもたちと一緒に畜産を学びながら「畜産のまち」として誇れる素晴らしい環境にあることを知りました。最初は興味がなく消極的な子どももいましたが、体験学習などをするうちに「もっと牛のことを知りたい」と自主的に活動するようになりました。和牛少年隊としては肉用牛振興大会での発表(寸劇)で終わりましたが、この体験を将来に生かしてほしいと思います。

CTとMR

M E D I C A L L E C T U R E

やさしい医療講座

霧島市立医師会医療センター
放射線科医/前田 茂



放射線科における 画像検査

CTとMR

放射線科で行われる種々の検査の中で最も日常的な検査となっているのがCTとMRです。それぞれ一長一短があり、検査の目的に合わせて使い分けています。「どちらがよいのだろうか」と、悩まれることも多いかと思いますが、今回はこの2つの検査の違いや使い分けを簡単に説明させていただきますと思います。

CT検査は装置が回転しながら放射線を出して体の横断面の画像を作る検査です。一方、MRは自然界の数万倍という強い磁場の中に体を置いて、電磁波をかけて出てくる信号を画像に変換する検査で、任意の断面の画像を得ることができます。CTは放射線の被曝を受けませんが、MRは放射線を使わないので被曝の心配はありません。検査時間はCTで10分前後、MRは10〜15分程度です。

ではどの検査を?

頭の検査では、出血や骨折の描出はCTの方が優れていますので、頭部外傷や脳出血・クモ膜下出血など急性の出血性脳卒中が疑われるときはCTを施行します。一方、MRは脳血管の描出や種々の撮像が可能であり、急性期脳梗塞、陈旧性脳出血・脳梗塞、脳腫瘍、動脈瘤や変



図1: 心臓 表面の血管が冠動脈

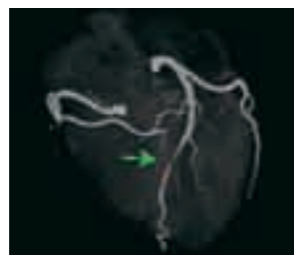


図2: 左右の冠動脈 中央の血管に狭窄(きょうさく)あり



図3: 心臓の内腔 血液を全身に送り出す室で動きを見れる



図4: 大腸仮想内視鏡 カメラで内視鏡をしているかのような画像



図5: 脳血管 造影剤を使用しないで撮影

性疾患などほとんどの脳疾患の評価に優れており、通常の頭の精密検査にはMRの方が適しています。胸部では肺炎、肺がん、肺動脈や大動脈の血管など、最近では冠動脈も含めて、ほとんどの検査でCTの方が優れており、MRを第1にすることは例外的です。腹部ではその適応は微妙になります。胆のうや胆管内の結石、胆のう腺筋腫症と呼ばれる胆のう壁の良性の肥厚性病変、すい臓内の嚢胞性病変やすい臓管の評価にはMRが優れています。CTで病変をとらえて、質的診断のために必要時にMRを追加するというのが一般的です。ただ、慢性肝炎や肝硬変での定期的な検査では肝臓がんの検出が目的となり、MRとCTは現段階ではほぼ同等の検出能力と思

われ、どちらでもかまわないと思います。子宮や卵巣の婦人科疾患の検査はMRの独壇場です。膝や肩などの関節や脊椎など整形外科領域も通常はMRで検査します。血管の描出には、CTはどの部位でも造影剤の注射が必要ですが、MRでは頭部や頸部では造影剤は不要で、腹部や下肢では造影剤を使用しています。実際の写真をお示しします。図1〜4は1月に当院に導入された新しいCT装置で得られた画像で、図5はMRによる脳血管です。

検査を受けることは不安ではありませんが、必要時には適切な時期に、適切な検査を受けられ、これらの検査が皆さまの健康維持に少しでも役立てられることを願っています。

お知らせ

高校再編
牧園高校跡地に新設高校

鹿児島県教育委員会は2月16日、栗野工業高等学校(湧水町)と牧園高等学校を統廃合し、来年4月に開校する新設校を牧園高校跡地に設置する方針を決めました。新設校は総合学科3学級と工業科1学級の計4学級になります。

関係各方面の皆さまのご支援、ご協力に感謝申し上げます。
◎問い合わせ先 教育総務課 ☎(64) 0924

住民異動に伴う
窓口業務の延長

異動時期の窓口混雑を緩和するため、3月26日(月)から4月6日(金)までの間、受付時間を延長します。

・土、日の開設(本庁のみ3月31日、4月1日) 午前8時15分～午後5時
・平日の時間延長(本庁および各総合支所) 午後5時～7時
※県内では、鹿児島市、薩摩川内市、西之表市、阿久根市、出水市、日置市、大口市、菱刈町および加治木町が同様に繁忙期の窓口時間延長を行います。

◎住民異動に伴う窓口業務を延長いたします。

本 庁	各総合支所	時間延長を行う業務内容
市民課	市民課 (牧之原支所窓口係)	住民異動届の受付、住民票の交付、印鑑証明の交付、印鑑登録戸籍謄抄本の交付、戸籍届書の受付
環境衛生課		畜犬の届出受付
年金課		国民健康保険の届出・受付、被保険者証の発行
納税課	税務課	税証明の発行(所得証明、納税証明、課税証明等)
収入課		税証明の発行(固定資産関係税証明)
高齢・障害福祉課	保健福祉課 (単人は健康保険課)	介護保険の各種申請・受付
児童福祉課	保健福祉課 (単人は福祉課)	児童手当、児童扶養手当、乳幼児医療費助成、ひとり親家庭医療費助成、保育所入退所などの申請・受付
学校教育課	教育総務課	転出入に伴う就学事務

ます。開庁日程や時間、取り扱う業務などがそれぞれ異なりますので、詳しい延長内容につきましては、各市町へお尋ねください。

霧島市地域包括支援センターの支所を設置

介護予防の拠点として平成18年4月から開設されている霧島市地域包括支援センターの支所を、1月から10か所設置しました。ご利用ください。

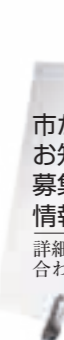
《本庁》
霧島市地域包括支援センター
所在地 国分中央三丁目33-10 ☎(48) 7979

支所名	住 所	電話番号
国分北支所「アメニティ国分」	国分重久 361-1	(64) 0667
国分支所「うのき」	国分中央 3-19-15	(45) 7337
国分南支所「瑞祥園」	国分郡田 711	(46) 3717
溝辺支所「フラワーホーム」	溝辺町麓 951-2	(58) 2365
横川支所「横川緑風園」	横川町中ノ 5645-1	(72) 9183
牧園支所「サンライトホーム」	牧園町高千穂 3617-623	(78) 3387
霧島支所「翔朋園」	霧島山口 2737-36	(57) 0100
隼人北支所「みゆき苑」	隼人町松永 895-3	(43) 8000
隼人南支所「隼人塚」	隼人町小田 240	(43) 2222
福山支所「牧之原むつみ園」	福山町福山 5290-30	(56) 3418

◎地域包括支援センターの業務
高齢者を総合的に支えていくための拠点として設置しました。

介護保険や介護予防・福祉制度・虐待・介護サービスなどに関する相談や支援を行います。
◎問い合わせ先 高齢・障害福祉課 介護保険係 ☎(64) 0995

市からのお知らせや募集などの情報をお届けします。
詳細な情報は掲載されている問い合わせ先に、ご連絡ください。



《支所》
市を委託を受けて、障害をお持ちのかた、そのご家族・関係機関のかたへの障害者福祉専門の相談窓口ができました。
地域で自立した生活を送りたい、福祉サービスについて知りたいなど障害者福祉に関するご相談がございましたらお気軽にご相談ください。相談は無料です。連絡ください。相談は無料です。
◎問い合わせ先 地域生活支援センター ☎(43) 1171

借金はよく考えてから

直接、ローン会社に向かなくてもカードで気軽にキャッシングが利用できる時代ですが、無計画に利用すると誰もが多重債務者になってしまう恐れがあります。しっかりと返済計画のもとで、上手に利用しましょう。

借金問題に陥った場合
借金問題の解決は、借主の収入・資産、支出状況など借主の実情に応じて解決方法の選択が可能です。解決方法には具体的

に4つの方法があります。①任意整理②調停③個人再生手続④破産。最終的には自分で決めなければならぬことですが、弁護士などの専門家に相談し、その上で決断されることが賢明だと思われまます。
借金問題は必ず解決できる問題ですので、しっかりと対処していきましょう。
・保証人と連帯保証人の違い
単なる保証人の場合には貸主に対してまず借主に請求せよという権利と、先に借主の財産を差し押えよと要求できる権利を持っていますが、連帯保証人にはどちらの権利もなく、借主より先に債務の返済を請求される場合があり、請求を拒否すれば強制執行されることもあります。
・名義貸し
知り合いなどから「絶対迷惑はかけないから」と言われ、断

り切れず自分の名前でローンやクレジットカードを契約し、結局はその債務を支払わなければならないケースがあります。
◎問い合わせ先 県サラリーマン金融苦情相談所 ☎099(223) 6832、県弁護士会 ☎099(226) 3765

トイレに処理困難物を流さないで

トイレットペーパー以外の紙おむつや布類、ビニール類などをトイレに流すと、し尿などの収集ができなくなり、し尿処理場においては処理機械に負荷がかかり、不具合の原因にもなります。

また、下水道を使用されている場合は下水管が詰まり、下水処理場のポンプなどの故障の原因となります。同様に家庭の台所の排水口から油などを直接流さないようにしてください。

飲食店などは、グリーストラップ(油脂阻集器)の設置が義務づけられ、定期的に点検・清掃をする必要があります。清掃の頻度が少なければ悪臭の発生だけでなく、浄化槽に流れ込んだ油脂などが固まって収集ができなくなり、し尿処理場でも処理できません。下水道でも管が詰まる原因となり、下水処理場の処理に悪影響を及ぼしま

すので注意してください。
◎問い合わせ先 環境衛生施設課 施設管理係 ☎(45) 0070、下水道課業務係 ☎(46) 7778

相談

休日納税相談を実施します

事情により、市税を納期内に納付できないかたがたを対象に休日納税相談を、次のとおり実施します。ぜひご利用ください。
・期日 3月31日(土)・4月1日(日)
・時間 午前8時15分～午後5時
・場所 収納課(国分総合支所1階10番窓口)
◎問い合わせ先 収納課収納第2係 ☎(64) 0892

女性相談

(毎月第4火曜日開設)

自分らしく生きるって?夫・パートナーからの暴力、家族、子育て、友人、職場、学校、地域のことで悩んでいませんか?
・相談日 3月27日(火) 午後1時30分～4時30分
・相談員 2人(女性相談員)
・相談方法 電話相談(面接可) 隼人総合支所 ☎(42) 1111
女性相談室へお電話ください。
◎問い合わせ先 隼人総合支所

総務課地域振興係 ☎内線5015
交通事故無料相談会
交通事故の損害額算定や損害賠償交渉の進め方などの相談に専門家が応じます。
・日時 3月17日(土) 午前10時～午後5時
・場所 生活協同組合コープかごしま国分店

その他

◎問い合わせ先 NPO法人鹿児島県交通安全被害者救済推進協会 ☎(43) 5743
りんごの木
「子どもたちが語るおはなし会」小学生の語り手たちが、春の喜びの中で世界の昔話やわらべうた遊びをお届けします。
・日時 3月31日(土) 午前10時30分～11時30分
・場所 国分図書館
◎問い合わせ先 国分図書館 ☎(64) 0918

始良伊佐地区青年祭
・日時 3月25日(日) 午前9時30分

・場所 2グリーン文化ホールみそめ館(溝辺町)
内容 始良伊佐地区内の青年団によるパフォーマンスやど自慢 ※入場無料
◎問い合わせ先 始良伊佐地区青年団連絡協議会事務局(湧水町教育委員会生涯学習課内) ☎(75) 2142

「花はきりしま」菜の花ウォーク

・期日 3月18日(日)
・時間 午前10時受付、午前10時20分スタート
・場所 霧島観光案内所
・コース 菜の花コース約10km(当日受付可)
・参加料 300円
・持参するもの 昼食、水筒、雨具、帽子、健康保険証など
◎問い合わせ先 霧島観光案内所 ☎(57) 1588、霧島総合支所産業振興課 ☎(57) 0045

「霧島・畑んがっこ」参加者募集

霧島の農場で1年間を通して大豆、小麦、小豆などの植え付けから食べかたまで一緒に体験してみませんか。
・期間 4月から1年間、毎月1回開催
・対象 成人および家族など

・参加費 年間10,000円 ※説明会を3月24日(土)に開催します。
◎申込・問い合わせ先 NPO法人霧島食育研究会 ☎(57) 1360

永遠の詩 沢田知可子コンサート

大ヒット曲「会いたい」などを収めた珠玉のバラードアルバム『永遠の詩』から繊細かつのびやかな歌声に抱かれる、心と身体に優しい時間をあなたに!
・日時 3月24日(土) 午後4時開演
・会場 みやまコンサート
・入場料 全席自由(一般3,000円、高校生以下2,000円、親子(一般1人+高校生以下1人)4,000円)
◎問い合わせ先 みやまコンサート ☎(78) 8000

お詫び

広報きりしま2月号お知らせ版の6ページに記載漏れがありましたので、追加しお詫びいたします。
◎県の事務の窓口が一部霧島市に移ります
・移譲される事務の内容 土地改良区の設立、合併、解散に関する事務等
・担当課 耕地課

8 9 9 4 3 9 4

お手数ですが
50円切手をお貼りください

霧島市役所
広報広聴課 行
(No.29/2007.3)

◎ご氏名
フリガナ _____

年齢 / _____ 歳 性別 / _____ 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル _____

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所 □□□□□□□□ _____

電話 (_____) _____

PRESENTS

読者プレゼント
霧島
3

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)

工 ツセー地域づくりを読み
ました。住みなれた地域
で生涯を過ごすために助け合い
が必要であること。「隣のひと
り暮らしのかた、身体や目、耳
に不自由のあるかた、子育て中
のかたに対する気配りの精神を
持っていたきたい」と書かれ
ていました。この「広報きりし

最近、食品衛生で考えられな
いことが発生しています。身近
に利用する公民館なども衛生面
で気をつける必要があります。
日当山公民館では、常に清潔に
保たれていて素晴らしいと思
います。指導員のかたも衛生面と
経費節減のため一生懸命です
ね。これからもよろしく願いま
す。

(S・J 73歳女性)

福 岡から鹿児島に来て1年
土地を求め草家を建て、
畑づくりの毎日です。ここに来
てゴミ収集は徹底していて心地
よさを感じます。今一歩進めて
生ゴミを回収してもらえないで
しょうか。生ゴミを袋に入れ、
燃えるゴミのとき、出せないで
しょうか。地球の温暖化は待っ

まーも地域のつながりを強めて
いく役割が大きいと思います。
ただ、実際に困った人に「手を
差し伸べる」ということはプラ
イバシーへの介入やお節介にも
なりかねないし、むずかしいも
のがありますが、「子ども笑う
な、自分が来た道じゃないか。
年寄り笑うな自分が行く道じゃ
ないか。」という他人事ではな
い、「真摯な態度で向き合っ
ていけたらいいなあ」とエッ
セーを読んでいました。(I・
K 62歳女性)

地域での助け合い、支え合い、
困っている人に対しての気配り、
支援の必要性を本当に強く感じ
ます。相手によって接し方、助
け方も違い、本当に難しいと思
います。今後も「広報きりしま」
で、地域づくりをテーマとして
取り組みたいと思います。

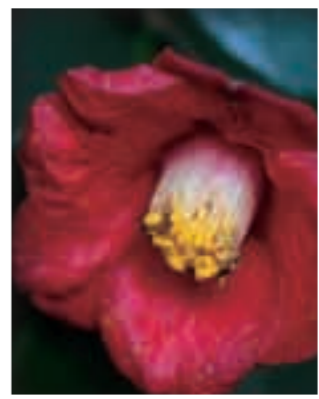
おっしゃるとおり、少しでも
自分たちでできることは自分た
ちでしなければいけないと思
います。生ごみは、週2回可燃ご
みとして収集していますが、生
ごみの有効利用につきましては、
受け入れ体制や施設の整備など
解決すべき問題があり、現在、
調査・研究を行っています。今
後とも、生ごみの減量化にご協
力をお願いします。皆さん、生
ごみは必ず水切りをしてから出
してください。

このほか、16通のお便りがあ
りました。ありがとうございました。
プレゼントは6人のかた
に配送しました。

※ハガキには住所・氏名・年齢
などを必ずお書きください。

たなしです。暖冬で地元のお年
よりは「おそろしい」といいま
す。わたしたちのできることか
らまず一歩踏み出さなければ女
性は意識の転換を計るべきです。
スーパリーの袋も流し台の下で
いっぱいになりゴミです。目先
の得でなく大いなる心で女性が
生きたらもっと世の中住み良
くなるのではないのでしょうか。(星
野王子 52歳女性)

最近、話題になっている食
品衛生管理問題、考えた
だけでもぞーっとします。わた
したちの利用させてもらって



つばき 2月10日 牧園町高千穂

Readers Voice

読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの
声を伝えるページです。
本誌への感想、霧島市への思いなど、
たくさんのお声をお寄せください。



過 日、免許切り替えのため
霧島警察署へ行った。「そ
うか国分署も霧島署になったの
か!」と思いつつ必要書類に住
所と本籍を記入。「住所は霧島
市隼人町:始良郡と書かないよ
うに:」と心の中でつぶやきな
がら記入。全部書き終えて書類
を提出すると「本籍は国分市で
はなくて霧島市国分ですよ」と
優しく訂正された。まだまだ本
物の霧島市民になりきれいな
いと感じた一日であった。(霧
島花子 37歳女性)

10月1日に国分警察署は霧島
警察署に署名が変わり管轄区域
も変更されました。頭では分
かっていても、つい前の住所を

先 日、読者プレゼントに応
募しました。焼酎を飲み
ながら「おーこいやよか、ほた
じゃ」娘がキノコ好きなため
募しようと思って、住所・氏名
などを書いてみると酔っぱらっ
てしまい翌朝投函した。夜に
なって焼酎を飲みながら「あれ、
裏面を書いたつげ、ちょっしも
た」今回はOK!これで焼酎
ゲットかな?ゴボウチップスを
自分の焼酎のつまみに、子ども
のおやつに作ってみました。自
分で作った分、おいしかったで
す。(焼酎のんころ 40歳男性)

キノコが当たれば娘さんが喜
んだと思えますが残念でしたね。
ゴボウチップスは本当におい
しいですね。食べ始めるととま
りません。焼酎の飲みすぎには
くれぐれも注意してください。

霧 島市の広報誌、写真など
が鮮明で文章も洗練され
ていますが、編集方針はど
うなっているのでしょうか。お知
らせ版で掲載してよい記事の内
容のものが両方の広報誌に掲載
されています。お知らせは告知
らせ版で掲載してよい記事では
ないでしょうか。もっと精選し
て今よりも簡潔にして広報誌に
かかる経費を他の予算にまわせ

「広報きりしま」は住民参加
型の見てもらう広報誌となっ
ています。「お知らせ版」だけ
は情報を適宜にお知らせできな
い状況です。なるべく最新の情
報をお知らせするため「広報き
りしま」にも掲載しております。
また経費についても、少しでも節
減するための検討をしています。

2 月号の「巨大絵馬まで亥
亥年を願う」よかったで
すね。ぜひ和氣神社に行ってみ
ようと思っています。原画製作
者の宍野さんもステキなカタで
感激しました。特集での紹介は
カラー版だからこそ印象に残る
のだと思います。今後も身近な
情報に期待します。(ブルグ
レー 54歳女性)

このコーナーは市民のかたが
たの健康の一助となればと思い
設けました。やさしい医療講座
は、詳しく説明してあり非常に
分かりやすくなりました。
がんは身近な人もかかり人ごと
ではありません。まだまだ寒い
ですので、体調管理に気をつけ
てくださいね。

毎 回楽しく読ませて頂いて
おります。私の特にあり
がたく拝見していますのは「や
さしい医療講座」です。現役の
先生がたのわかりやすい講座は、
だんだん年を重ね、あちこち悪
くなっていく者にとってはたい
へん役に立ちます。今回はがん
治療の昨今という記事で、とて
も興味深く勉強になりました。
現代はがんが非常に多く、いつ
も心にかけております。ありが
とうございました。(ひなたや
まのおばさん 67歳女性)

見に行ってください。これから
も多くの情報・話題をお届けし
ます。

このほか、16通のお便りがあ
りました。ありがとうございました。
プレゼントは6人のかた
に配送しました。



おたより 待ってます

この広報誌を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、霧島市への思い、あなたの身近な事、何でも好きなことを書いてください。

お便りをくださったかたの中からワインか焼酎を7人のかたにプレゼント。応募締め切りは3月20日(火)当日消印有効です。当選の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)

PRESENTS

霧島市隼人町特産品協会から ピーチワインと焼酎を プレゼントします。



隼人町特産品協会では資源を生かした特性ある特産品の開発・製造について研究、販路開拓に努めています。県内外に「朝日の桃」として知られる隼人町朝日地区の桃を利用したピーチワイン「桃の香」、隼人町特産品協会推薦品の焼酎「隼人心」の宣伝もしています。

◎問い合わせ先＝霧島市隼人町特産品協会 ☎(42)2128

関平鉱泉水を ご利用ください



「関平鉱泉水」は霧島山麓の渓谷内で発見されて以来、地元の人に飲み継がれてきました。全国に約2万人を超える愛飲者がいます。飲用いただいている理由としてお客さまからは「健康にいい」「おいしい」「胃にいい」「傷にいい」などの声が寄せられています。(お客さまアンケートより)市では貴重な財源でもある関平鉱泉水の販売促進に取り組んでいます。全国発送もできますので、皆さまの家族の健康やご進物にぜひご利用ください。

◎問い合わせ先＝関平鉱泉水販売所 ☎(78)2355
フリーダイヤル0120(235)524 定休日は第1、第3火曜日



癒いやされて生きるまち

◎秋峯 いくよ

(写真) 溝辺体育館近くにある秋峯さんの歌碑

空港にも近いし降灰もなくていい所だと勧められて、約24年間暮らした大阪市から溝辺へ。21年前のことです。溝辺に住んでみると感動の連続でした。新築の家もうれしかったし、窓の向こうには霧島連山の五岳(韓国、獅子戸、新燃、中、高千穂)が朝焼け夕焼けに染まり、冬には冠雪の峰々が白銀に輝いて厳然とした美しさを見せてくれました。(残念ながら何年前かに家が建って今はほとんど見えなくなりましたが)家の周囲には茶畑や谷があり、

杉谷の杉の秀すかが真まっ直ちかぐに青空を指しているのも清すが々しい気持ちにしてくれませう。春になると茶畑の新芽が萌もえ立ち、鮮やかな若草色に輝いて目が洗われるようです。何より感激したのは、裏の雑木谷で啼なく赤ショウウビンの声でした。まるで森の妖精の吹く笛の音色のように聞こえました。イカル・シジュウカラ・ホトトギス・カケス・コゲラ・ジョウビタキなどの啼き声に包まれて暮らす幸せな日々。ちょっと足を伸ばせば、波の

向こうに揺れる桜島を眺めながらの潮干狩りや青のり取り、牧園の牧場今は跡地や霧島神宮、黒酢の酢瓶の丘、高屋山陵と上床公園、そして丸岡公園。枚挙に暇がありません。桜や紅葉狩りに温泉は至るところにあり、夜空の星は美しく本当にせいたくなくらい恵まれたところだとついつい思いました。豊かな自然に囲まれた環境の中で好きな読書や短歌に励む日々。やがて溝辺町本を読む婦人の集い「ひまわりグループ」平成3年に全国読書推進協議

会賞受賞Ⅱと溝辺短歌会に入会させていただきました。そこでたくさんのすばらしい仲間に出会うことができました。そんなご縁で還暦の年に諸先生がたのご指導を得て、私は歌文集「庭椅子」を溝辺文化叢書第2巻として出版することができました。新聞などに掲載されたものなどをまとめたものです。拙い歌文集ですが、この本を出すために神はこの溝辺という地を与え給うたのだとさえ思えるほどの喜びでした。もう一つうれしいことは、上床公園に歌会員の歌碑(木碑)を建ててもらったことです。私の歌碑は体育館へ行く道端にあります。

盆裁の白樺大地に下ろされて南国わが家の庭に芽吹けり
歌は杉丸太を削ったものに書かれていきます。
引越してきた当初から夫がせっせと植えたモミジ、椿、ミツバツツジなども庭に大きくそびえたつほどになりました。かきつばた類、スモモ、柿なども食べきれないくらいあります。畑では無農薬野菜を作り、四季折々の花を咲かせて、孫たちにも恵



Profile
あきみね いくよ(溝辺町在住)
1940年大阪市生まれ、父に召集令状が来て母と垂水へ引き揚げる。県立垂水高校図書室に勤務。結婚して大阪へ。21年前に溝辺へ。2000年に歌文集「庭椅子」(溝辺文化叢書第2巻)発行。始良中央地区合併協議会委員を務める。現在、読書会ひまわりグループ、溝辺短歌会に所属。

まれて、まさしく溝辺での生活は楽園そのものとなりました。しかし、そんな幸せがもろくも崩れ去ったのです。昨年、夫が急死してしまいました。何をすることもいつも一緒だった相棒を失い、生きる気力さえ無くしてしまいました。そんな私を多くのかたがたが心配して励ましてくださいました。歌を詠むことと畑で働くことも支えとなりました。私には103歳になる母がいます。母のためにも子どもたちのためにも力強く生きていかねばと思います。夫との思い出のいっぱい残るこの霧島の地で。

広報力を高める

鹿児島県広報コンクールで霧島市が特選を受賞。合併を機に刷新した広報誌が一年目で県のトップとなったことを聞いてとても喜びました。「一等賞」になったから喜んだのではなく、世の中がダイナミックに変わり財政状況の厳しい局面を知恵で乗り越えようとするとき、その背景や理由、自治体としての努力や工夫などを、丁寧に市民の皆さんへ説明し、理解していただくかなければなりません。まさに今月号の8・9ページはそれにあたります。きちんとした説明責任を果たした上での世論を得た施策や事業は、皆さんから高い評価を得ることが出来ます。このことを遂行するために広報誌が存在します。また、私が楽しみにしているのが読者のページです。寄せられたハガキすべてに目を通していきます。50円切手を貼って寄せられることに感謝するとともに、心から感謝を申し上げます。「職員はみな広報マン」であってほしいと思います。市の職員全員が、自分の仕事に広報という要素を加えることができれば、住民と行政の間に「よりよい関係」を築くことができると思います。